

# 環境報告書2005

札幌大同印刷株式会社



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



環境に優しい植物性大豆インキを使用しています。

このレポートは地球環境保護のため、古紙配合率100%再生紙(グラフィーエコ100)を使用することで、森林資源の保護とリサイクルを促進します。  
インキはアメリカ大豆協会が認定する環境に優しい大豆インキ(大同見本帳/Daido-CM)を使用することで、石油資源の保護、大気汚染の原因となるVOC(揮発性有機化合物)の発生を抑制しています。

Sapporo Daido Printing co.,ltd

## Environmental Report 2005

# 報告書発行について・札幌大同印刷環境方針

## [ 報告書発行について ]

### 発行の目的

本報告書は、お客様、お取引先、地域住民、従業員をはじめとするステークホルダー(利害関係者)の皆さまに、札幌大同印刷の環境理念や環境保全活動、環境パフォーマンス(事業活動により与える環境への影響とその対策や成果など)、社会貢献活動を中心に情報開示を図るとともに、従業員の環境教育資料として用い、継続的改善に向けての意識の向上と情報の共有化を図る事を目的とするものです。

### 対象組織

#### 【札幌大同印刷株式会社】

本社製造部  
札幌市厚別区厚別東3条2丁目  
TEL.011-897-9711

営業本部  
札幌市豊平区豊平5条5丁目  
TEL.011-823-6115

企画制作室dio  
札幌市中央区南7条西1丁目第2弘安ビル4F  
TEL.011-562-1270

### 対象期間

2005年1月1日～2005年12月31日  
一部2006年度の情報も含まれています。

### 対象分野

上記対象組織における、環境保全活動、環境パフォーマンス、社会貢献活動。

### 本報告書作成において参考にしたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」

### 報告書発行および問い合わせ先

札幌大同印刷株式会社 企画制作室dio  
TEL.011-562-1270  
環境管理事務局 藤谷 浩幸

環境情報のダイジェスト版はホームページ「ecology report」にてご覧頂けます。  
<http://www.dioce.co.jp/daido>

## [ 札幌大同印刷環境方針 ]

### 理念

私たちは健全で美しい地球環境の保全を最重要課題のひとつととらえ、印刷及び印刷関連事業、マルチメディア事業の推進と地球環境保全との調和に努め、地球に優しい事業活動を継続して実践し、豊かな自然環境を将来世代へ引き継ぎ、北海道の企業として快適な地域社会の実現に貢献します。

### 基本方針

- 環境マネジメントシステムを確立し運用します。
- 事業活動全般によって生じる環境への影響を常に認識し、環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を含め、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
- 事業活動全般にかかわる環境関連の法律、規制、協定等を遵守するとともに、必要に応じて自主基準を定めて、環境保全に努めます。
- 環境の汚染予防のため、以下の項目を実施します。
  - 事業活動における、電力等のエネルギーの節約を図り、地球温暖化の防止に努めます。
  - 事業活動における、紙の節約及び再生紙の使用とグリーン購入を積極的にを行い、環境に配慮した紙・インキ等の使用を、お客様に提案し、森林資源の枯渇を防ぐ等の環境負荷の低減に努めます。
  - 印刷業務において使用される溶剤、薬品等、産業廃棄物として排出される廃インキ・廃液等、及び事業活動において排出される一般廃棄物の分別をし削減・リサイクルの推進を図り、限られた資源の有効利用に努めます。
- 環境方針の理解と環境保全意識の向上を図るため、環境教育と社内広報活動を実施します。また、取引業者、利害関係者にも、当社の環境マネジメントシステムについて理解と協力を求めます。
- この環境方針は、ポスターや文書などにより、札幌大同印刷で働く、又は組織のために働くすべての人に周知徹底を図ります。また、ホームページなどを通じ、一般の人にも公表し、入手可能な処置をとります。

この環境方針は社内外に公表します

制定 2003年 3月 1日  
改訂 2005年 9月 1日

札幌大同印刷株式会社  
代表取締役社長

本問 翼

# 2005年度目標と実績・中期目標

## 2005年度目標と実績

(自己評価について、 :目標達成 ×:目標未達成 —:当該年度該当無し)

項目	環境目的	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	自己評価
省資源・地球温暖化防止対策	電力使用量の削減	[参考] 使用量 実績450,275kwh	[参考] 使用量 実績420,222kwh	[参考] 使用量 実績464,476kwh	使用量 [目標] 459,831kwh 前年度比 1.0%削減 [実績] 431,804kwh 前年度比 7.0%削減	
	事務用紙使用量の削減	[参考] 使用量 実績576,100枚	[参考] 使用量 実績536,425枚	[参考] 使用量 実績451,236枚	使用量 [目標] 448,408枚 前年度比 0.6%削減 [実績] 449,365枚 前年度比 0.4%削減	×
	印刷予備紙率の削減	————	[参考] 予備紙率 実績14.0%	[参考] 予備紙率 実績13.2%	予備紙率 [目標] 13.0% 前年度比 0.2%削減 [実績] 13.0% 前年度比 0.2%削減	
	ジクロロメタン使用量の削減	[参考] 使用量 実績174	[参考] 使用量 実績126	[参考] 使用量 実績72	使用量 [目標] 66 前年度比 8.3%削減 [実績] 40 前年度比 44.4%削減	
	トルエン使用量の削減	————	[参考] 使用量 実績238.0kg	[参考] 使用量 実績235.2kg	使用量 [実績] 263.2kg 前年度比 11.9%増加	—
廃棄物対策	フロンガス使用量の削減	————	[参考] 使用量 実績21.5	[参考] 使用量 実績20	使用量 [目標] 19.5 前年度比 9.3%削減 [実績] 16.8 前年度比 34.7%削減	
	車両排出ガス(CO <sub>2</sub> )排出量の削減	[参考] 排出量 実績88,050kg	[参考] 排出量 実績87,639kg	[参考] 排出量 実績85,943.3kg	排出量 [目標] 85,409kg 前年度比 0.6%削減 [実績] 81,719kg 前年度比 4.9%削減	
	廃液(産業廃棄物)の削減	[参考] 排出量 実績16,866kg	[参考] 排出量 実績12,455kg	[参考] 排出量 実績5,252kg	排出量 [目標] 5,144kg 前年度比 2.0%削減 [実績] 4,669kg 前年度比 11.1%削減	
	廃インキ(産業廃棄物)の削減	[参考] 排出量 実績2,137kg	[参考] 排出量 実績2,205kg	[参考] 排出量 実績1,866kg	排出量 [目標] 1,859kg 前年度比 0.4%削減 [実績] 1,782kg 前年度比 4.5%削減	
	一般廃棄物の削減	————	[参考] 排出量 実績34.99	[参考] 排出量 実績34.35	排出量 [目標] 33.87 前年度比 1.4%削減 [実績] 33.82 前年度比 1.5%削減	
環境保全対策	大同特色インキの提案	————	————	[参考] 提案率 実績27.4%	提案率 [目標] 27.9% 前年度比 0.5%UP [実績] 35.2% 前年度比 7.8%UP	
	再生紙の提案	————	————	[参考] 再生紙提案率 実績7.9%	再生紙提案率 [目標] 8.0% 前年度比 0.1%UP [実績] 7.4% 前年度比 0.5%DOWN	×
	グリーン購入	————	————	[参考] グリーン購入対象5品目 購入率実績70.0%	グリーン購入対象5品目購入率 [目標] 100% [実績] 72.0% 前年度比 2.0%UP	

## 中期目標

項目	環境目的	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
省資源・地球温暖化防止対策	電力使用量の削減	使用量 [目標] 430,187kwh 前年度比 0.4%削減	使用量 [目標] 428,311kwh 前年度比 0.4%削減	使用量 [目標] 426,435kwh 前年度比 0.4%削減	使用量 [目標] 424,559kwh 前年度比 0.4%削減
	事務用紙使用量の削減	使用量 [目標] 449,365枚 前年度 維持	使用量 [目標] 439,365枚 前年度比 2.2%削減	使用量 [目標] 436,720枚 前年度比 0.6%削減	使用量 [目標] 434,076枚 前年度比 0.6%削減
	印刷予備紙率の削減	印刷予備紙率 [目標] 13.0%維持			
	トルエン使用量の削減	使用量 [目標] 257.6kg 前年度比 2.1%削減	使用量 [目標] 252.0kg 前年度比 2.1%削減	使用量 [目標] 246.4kg 前年度比 2.1%削減	使用量 [目標] 240.8kg 前年度比 2.1%削減
	車両排出ガス(CO <sub>2</sub> )排出量の削減	排出量 [目標] 81,530kg 前年度比 0.2%削減	排出量 [目標] 81,360kg 前年度比 0.2%削減	排出量 [目標] 81,180kg 前年度比 0.2%削減	排出量 [目標] 81,010kg 前年度比 0.2%削減
廃棄物対策	廃液(産業廃棄物)の削減	排出量 [目標] 4,217kg 前年度比 2.7%削減	排出量 [目標] 4,048kg 前年度比 1.0%削減	排出量 [目標] 3,879kg 前年度比 1.0%削減	排出量 [目標] 3,711kg 前年度比 1.0%削減
	廃インキ(産業廃棄物)の削減	使用量 [目標] 1,778kg 前年度比 0.2%削減	使用量 [目標] 1,774kg 前年度比 0.2%削減	使用量 [目標] 1,769kg 前年度比 0.2%削減	使用量 [目標] 1,765kg 前年度比 0.2%削減
	一般廃棄物の削減	排出量 [目標] 31.47 前年度比 6.9%削減	排出量 [目標] 31.39 前年度比 0.3%削減	排出量 [目標] 31.31 前年度比 0.2%削減	排出量 [目標] 31.24 前年度比 0.2%削減
	大同特色インキの提案	提案率 [目標] 35.5% 前年度比 0.3%UP	提案率 [目標] 35.8% 前年度比 0.3%UP	提案率 [目標] 36.1% 前年度比 0.3%UP	提案率 [目標] 36.4% 前年度比 0.3%UP
	再生紙の提案	提案率 [目標] 8.0% 前年度比 0.6%UP	提案率 [目標] 8.1% 前年度比 0.1%UP	提案率 [目標] 8.2% 前年度比 0.1%UP	提案率 [目標] 8.3% 前年度比 0.1%UP
環境保全対策	グリーン購入	グリーン購入対象5品目購入率 [目標] 100%購入			

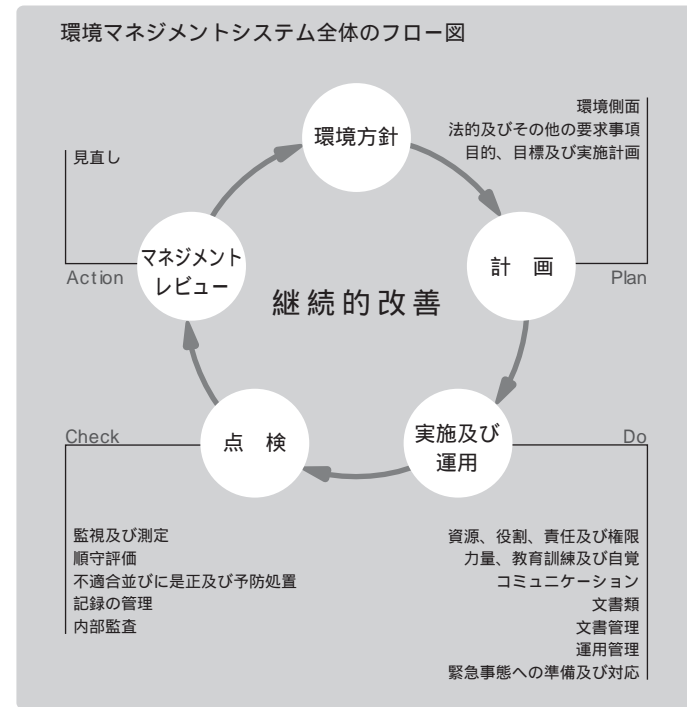


# 環境マネジメントシステムの概要

## 環境マネジメントシステム(EMS)

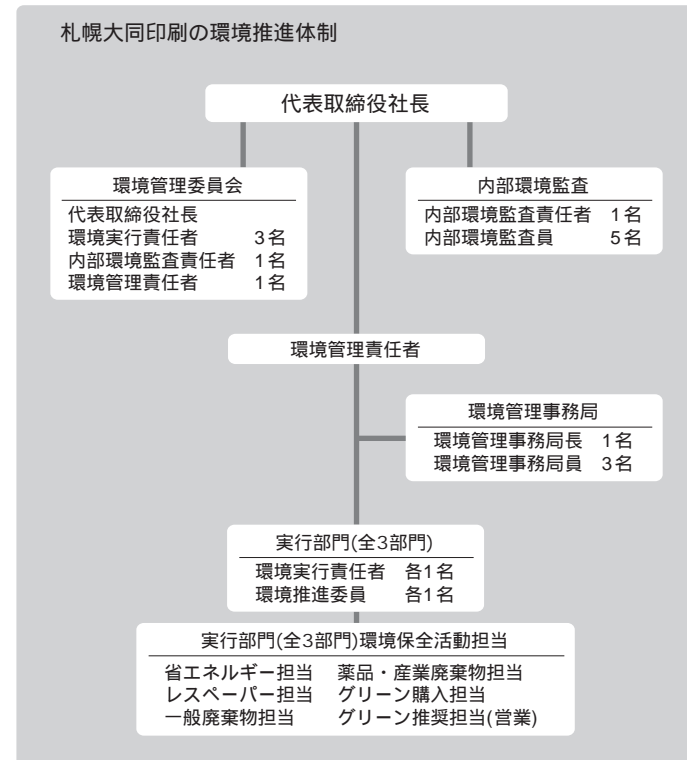
札幌大同印刷は、環境に関する環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」を2003年9月に認証取得しました。

環境への取組みを推進するため環境推進者を中心に、計画(Plan)、実施及び運用(Do)、点検(Check)、見直し(Action)というPDCAサイクルに沿って環境マネジメントシステムを構築



## 環境マネジメントシステム推進体制

札幌大同印刷は、効果的な環境マネジメントを推進運営するための組織を構成し、役割と権限を明確にし、3部門の関係を強化することで、環境保全に関する活動を円滑に行っています。



## 環境教育

環境管理に必要な知識と技能を習得し、環境保全の維持向上を図るため、全従業員を対象とし、2005年度札幌大同印刷における環境教育を全従業員120名全員が受講しました。

また、各部門独自の手順書等を用いた部門教育や環境マネジメントシステムの運用管理をするための専門的知識や技術の習得により、維持向上を図ることを目的としたスタッフ・監査員教育など、社内外において随時行っています。



### 環境教育プログラム

教育の種類	目的	対象者	周期	
一般社員教育	環境意識の高揚 (モチベーションUP)	管理者 一般社員 パート アルバイト	年1回以上	
新入社員教育		新入社員	随時	
転入者教育		転入者	随時	
経営者・管理者教育	環境管理の役割と責任に関する教育	役員 環境実行責任者 環境推進委員 内部環境監査員	随時	
部門専門教育	部門独自の取組み手順等の理解と能力向上	各部門全従業員	年1回以上	
環境法定業務研修			随時	
スタッフ・監査員専門教育	専門技術の習得	環境推進委員 環境管理事務局 内部環境監査員 内部環境監査員補佐	随時	
内部環境監査員研修			随時	
周知	取引先教育	環境管理の周知	取引先責任者	随時

## 法令順守状況

事業活動において、環境側面に適応される環境関連法規制や条例・協定などの調査を行い、要求事項を登録し、法規制の逸脱を防ぐために自主基準を設け、監視や測定などを行い、環境の汚染の防止に努めています。

環境法規制の制定・改訂の動向については、環境省や道庁、札幌市などから定期的に情報を収集し、法の適用を受ける場合には関係部門に連絡し速やかに対応します。

また地域住民や利害関係者から環境に関する苦情などを受付、随時対応して手順を見直し、必要に応じて改善を行います。

2005年度は、法規制に関する違反及び指摘、又は苦情などは有りませんでした。

## 事故・緊急事態発生時の対応

各事業所で定めた手順のもとに、薬品漏れや火災などの事故及び緊急事態発生時の対応を想定した訓練を行っています。

発生の場合には、原因の究明や予防対策の検討など対応の記録を残すとともに、必要に応じて手順を見直し、手順書の改訂を行っています。

2005年度は、事故及び緊急事態の発生はありませんでした。



## 環境汚染の予防

札幌大同印刷から排出された廃棄物から、環境汚染による法規制の逸脱防止のため、マニフェスト伝票の管理を行っています。企画室ではフィルム自動現像機の水洗槽の水に対し自主基準を設け、水質検査(ph測定)を実施しています。本社製造部では地下灯油タンクを使用していましたが、腐食劣化による漏洩事故などを防止するため廃止しました。また本社製造部及び営業本部の灯油ホームタンクには灯油流出を防止するため防油堤を設置しました。



## 廃棄物処理委託先業者の立入確認

札幌大同印刷が排出する廃棄物が、廃棄物処理委託先において適切に収集運搬や中間処理、最終処分が行われているかを年に1度、現地にて確認を行っています。

2005年度は、江別市にある株式会社協和環境サービスにて、中間処理施設や埋立型処分場などを確認しました。



## 環境マネジメントシステム監査

札幌大同印刷は、環境マネジメントシステムがISO14001規格や環境法規制の要求事項などが適切に維持管理され、運用が確実に定着しているかを検証するため、内部環境監査を行いました。

2005年度は、外部による内部環境監査研修を受講し、資格を取得した計6名(各部門2名ずつ選出)で構成され、公正かつ客観的立場として、監査員の所属している部門以外の監査を行うようチーム編成を行っています。

## 2005年度内部環境監査結果

2005年度に実施された内部環境監査では、環境マネジメントシステムの運用が確実に定着している事を確認しました。また2005年度より、環境保全活動に積極的な取り組む姿勢や効果的に継続的改善を行うなどの事項を、推奨として取り上げ評価しました。

営業本部		
観 察	11件	
軽微な不適合	4件	
重大な不適合	0件	
合 計	15件	
推 奨	2件	

企画制作室		
観 察	6件	
軽微な不適合	0件	
重大な不適合	0件	
合 計	6件	
推 奨	1件	

本社製造部		
観 察	17件	
軽微な不適合	0件	
重大な不適合	0件	
合 計	17件	
推 奨	1件	

環境管理責任者・環境管理事務局		
観 察	3件	
軽微な不適合	0件	
重大な不適合	0件	
合 計	3件	
推 奨	0件	

札幌大同印刷		
観 察	37件	
軽微な不適合	4件	
重大な不適合	0件	
合 計	41件	
推 奨	4件	



# 環境パフォーマンス

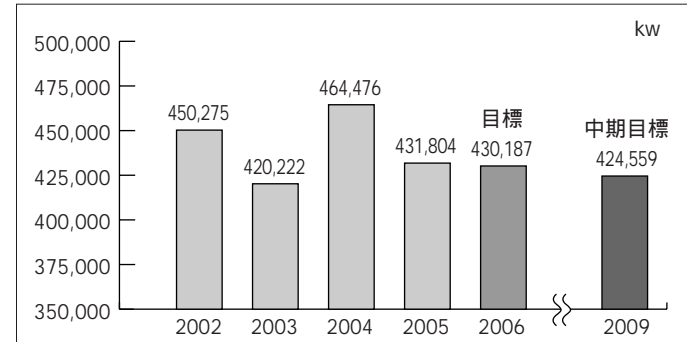
## [ 省資源・地球温暖化防止対策 ]

### 電力使用量の削減

札幌大同印刷は、残り少ないと言われている石油資源の将来性や日本全国でも北海道の石油依存度が非常に高い事などを考慮し、電力使用量の削減に努めています。

各オフィスでは退出時の照明未使用箇所の部分消灯や冷暖房機器の温度設定管理、離席時のパソコンモニターオフ、省エネルギー型OA機器の購入などの活動や、本社製造部では作業準備時間の短縮などの活動に取り組んだ結果、電力使用量が前年度比で7.0%削減することが出来ました。

電力使用量の実績と中期計画

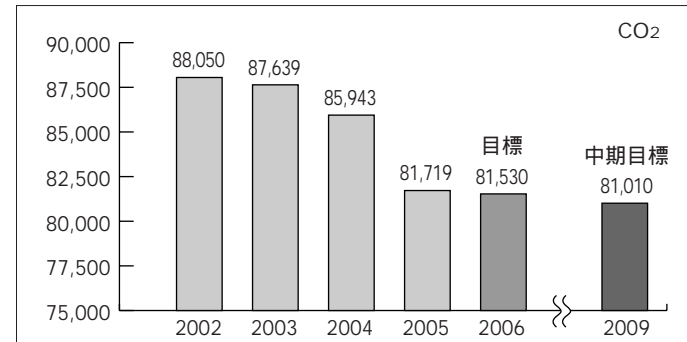


### 車両使用に伴うCO<sub>2</sub>の削減

札幌大同印刷は、技術の向上により年々自動車の排気ガスがクリーンになっていますが、自動車台数の増加に伴う交通渋滞などにより排出されるガスの影響から、温室効果ガスとして地球温暖化を引き起こす影響の改善がされていない事などを考慮し、その原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の削減に努めています。

営業活動やメッセンジャーの各ドライバーにエコドライブを呼び掛け、アイドリングストップや法定及び経済速度の遵守、急発進や急加速、急ブレーキ、エアコンの使用を控えるなどの活動に取り組み、車両から排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が前年度比で4.9%削減することが出来ました。

車両排出ガスの実績と中期計画



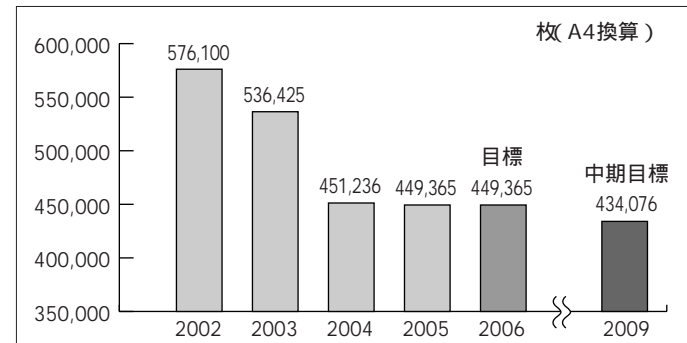
### 事務用紙の削減

札幌大同印刷は、日本人が使う紙の量が世界でもトップクラスであり、1年間に1人あたり立ち木で約5本分使用すると言われている事などを考慮し、事務用紙の削減に努めています。

各オフィスでは、片面使用済み事務用紙の裏面再利用や営業日報などのデジタル化、メールの活用、製本工程時に発生する断裁紙片の有効利用などの活動に取り組んでいます。

2005年は、4月1日より個人情報保護法の施行により、当社プライバシーマーク取得に向けたマニュアルや内部規程の作成に伴い、下半期の事務用紙使用量が増加したことで、目標には届きませんでしたが、結果的に事務用紙の使用量は前年度比で0.4%削減することが出来ました。

事務用紙の使用量実績と中期計画

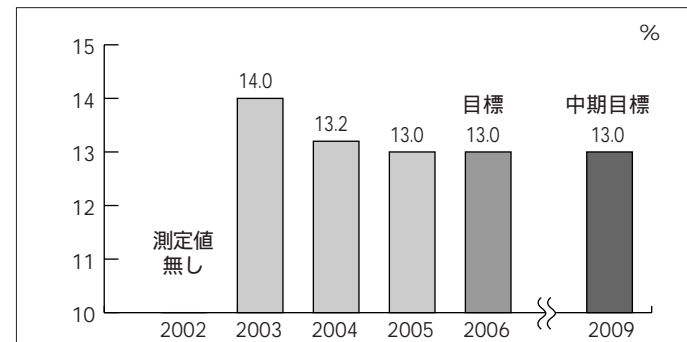


### 印刷予備紙率の削減

発展途上国では、人口の増加によるための焼畑農法や木材パルプ、建築資材など海外への輸出のための違法伐採が後を絶たしません。森林破壊は現在も行われており、森林資源は急速に減少しています。札幌大同印刷も、印刷を生業として大量に紙を使用していますが、作業工程の中で少しでも資源の投入の無駄を省く事で、森林資源の投入を抑制することが出来るため、印刷予備紙率の削減に努めています。

本社製造部では、印刷工程時に発生する予備紙の削減を図るため、ヤレ紙の再利用や喚起ポスターでの意識付けなどの活動に取り組んでいます。また、2003年10月CTPを導入した事により、刷り出し時の見当性の向上や色情報のデジタル化など、予備紙の削減に効果を表し、印刷予備紙率が前年度比で0.2%削減することが出来ました。

印刷予備紙率の実績と中期計画



## [ 汚染防止・化学物質の削減 ]

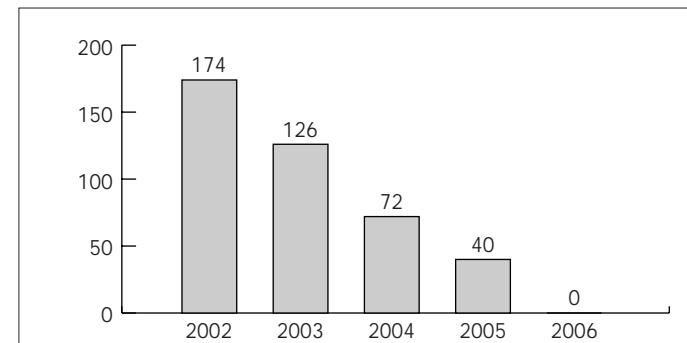
### 大気汚染の防止

札幌大同印刷の本社製造部では、印刷工程時にブランケット洗浄用として使用するジクロロメタンが、揮発性が高く大気へ放出される事により、地球温暖化や酸性雨などの原因となる事から、使用用途の制限や代替品調査などの活動に取り組んだ結果、ジクロロメタンの使用量が前年度比で44.4%削減することが出来ました。また、人体への有害性が懸念される事から作業者の安全性を考慮し、2006年度から100%撤廃する事を決定しました。

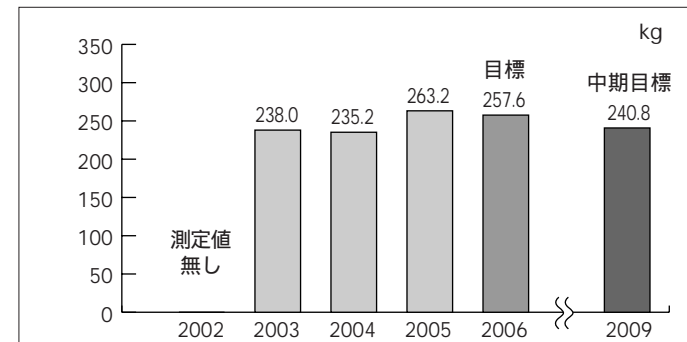


ジクロロメタンよりも人体影響が少ないとされ、代替品として使用しているトルエンは、揮発性有機化合物(VOC)として2006年4月1日改正「大気汚染防止法」により、化学物質規制の対象となり、VOC処理装置の導入や原材料の転換などによる自主的な取り組みが課せられる事になり、2006年度よりトルエン使用量抑制のための目的・目標が掲げられました。

ジクロロメタン使用量の実績



トルエン使用量の実績と中期計画



### 揮発性有機化合物(VOC)排出抑制制度

改正「大気汚染防止法」が2006年4月1日より施行され、揮発性有機化合物(VOC: Volatile Organic Compoundの略)排出抑制制度が始まりました。

VOCとは、SPM(浮遊粒子状物質)一定レベル以上の吸入により呼吸器に影響)や光化学オキシダント(粘膜への刺激、呼吸影響、植物影響など)の原因物質で、代表的な物質として、トルエン、キシレン、酢酸エチルなど約200種類あります。

印刷関連の該当施設は、オフセット輪転印刷、グラビア印刷の乾燥施設にあたり、札幌大同印刷はVOC排出施設規制対象外となりますが、自主的取り組みで排出抑制を図ることが義務付けられています。

また、「札幌市生活環境の確保に関する条例」において、特定化学物質ジクロロメタン・トルエンの使用が該当し、取り扱い事業者として使用量・排出量の報告を年1回、札幌市に提出することが義務付けられています。

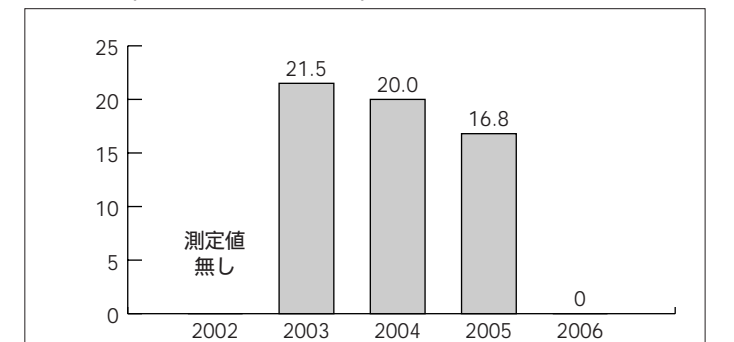
### オゾン層破壊の防止

フロンガスは大気へ放出されると地球の成層圏に存在するオゾン層を破壊し、紫外線を通す事により人の健康や植物などに悪影響を及ぼすことから、企画室のスキニングの際に使用する、フロンガスを含むシリンドークリーナーの使用量削減に努めています。



企画室では、フロンガスの大気への放出を防ぐため、使用後は速やかに蓋を閉じ、容器を廃棄する際には必ず中身を残さないなど使用上の注意の徹底を図りました。またノンフロン製品の発売が代替品調査で分かり、検証したところ品質上問題が無く、徐々に製品の切り替えをした事で、シリンドークリーナーの使用量は前年比で34.7%削減することが出来ました。2006年はフロンガス未使用となり、手順書による薬品運用管理項目に変更になりました。

フロンガス(シリンドークリーナー)の使用量実績





# 環境パフォーマンス

## [ 廃棄物の管理と削減 ]

### 産業廃棄物の適正管理と削減

産業廃棄物は、事業活動に伴い発生する廃プラスチックや廃油、金属くず、廃液など20種類が指定されており、排出した事業者が処理責任を有するものとされていますが、不法投棄による問題が後を絶たず、北海道でも2004年に京極町と静内町などの採石場などから、軽油の密造の際に出た有害産業廃棄物とされる硫酸ピッチがドラム缶で約620本(約150t)が不法投棄された事件は記憶に新しいところです。

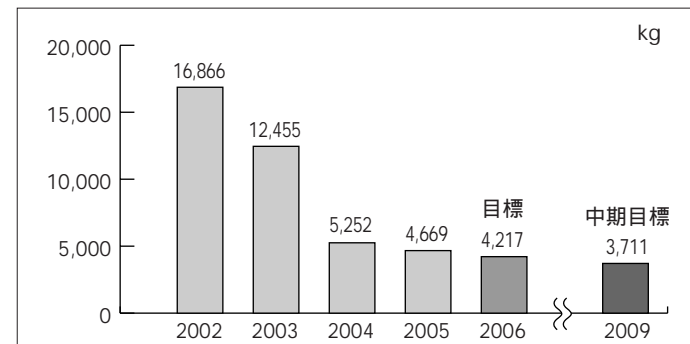


札幌大同印刷の産業廃棄物として、企画室ではフィルム自動現像機、簡易校正機コンセンサスから排出される廃液(廃酸、廃アルカリ)の削減に取り組んでいます。2003年10月のCTP導入による効果で、フィルム出力が99%無くなった事、コンセンサスがデジタル化になり人的ミスによる見当ズレやフィルム設置ミスなどが無くなり、廃液排出量が前年度比で11.1%削減することが出来ました。また、2006年度よりフィルム自動現像機の廃止により、フィルム出力が100%撤廃となり、出力待機による排出やメンテナンスによる排出が無くなることで大幅な削減が見込まれると思われまます。

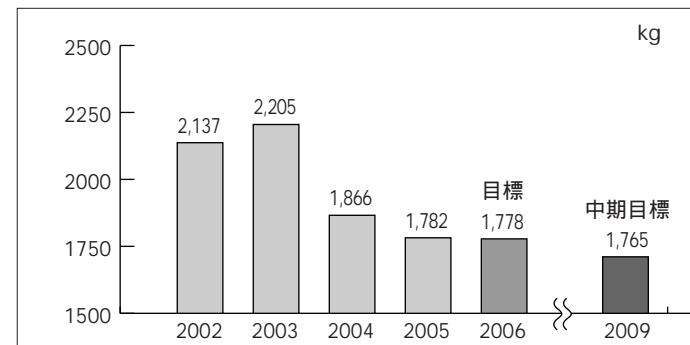
本社製造部では、印刷工程で排出される廃インキの削減に向け、印刷業者の技術の向上や特練りインキの再利用などを、また、営業では大同特色インキの提案に取り組んだ結果、廃インキ排出量が前年度比で4.5%削減することが出来ました。

札幌大同印刷は、廃液や廃インキ、その他の産業廃棄物に対して、マニフェスト伝票を廃棄物毎に保管管理し、最終処分までの期日をマニフェスト管理記録簿に記録し、産業廃棄物が適切に最終まで処理されているかを管理しています。

廃液排出量の実績と中期計画



廃インキ排出量の実績と中期計画



### マニフェスト管理

産業廃棄物処理とは、事業者の排出に始まり、収集・運搬から最終処分まで一連の処理を言います。これらの処理責任は、排出者である事業者にあります。本来産業廃棄物は排出者が自ら処理しなければなりません。現実的に処理出来ない場合、外部の処理業者に委託しなければなりません。委託した場合も事業者が処理責任があります。

マニフェスト管理とは、外部に委託した場合の廃棄物の流れを管理するもので、産業廃棄物ごとに作成し、マニフェスト伝票で適切に処理が行われた事を確認し、5年間保管する義務があります。

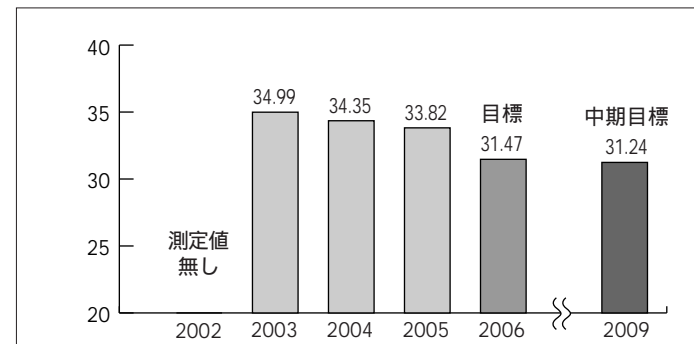


### 一般廃棄物の削減

札幌大同印刷は、3つの事業所に分れているため、各事業所毎に処理業者の回収方法が異なります。そのため処理業者毎の分別方法の指示に従い、担当者による分別品目の表示や分別が適切に行われているかの確認を行っています。また、ゴミ減量の4R推進活動などに取り組み、一般廃棄物の排出量が前年度比で1.5%削減することが出来ました。



一般廃棄物の排出量実績と中期計画



企画室はビル管理会社のもとにあるため、正確な排出量の把握が出来ないことにより、本社と営業のみの数値となっています。

### ゴミ減量の4R

- Refuse** ゴミになる物を買ったり、貰ったりしない。
- Reduce** 商品を買うときは包装が簡素な物を選んだり、詰め替えを利用した長く使える物を選ぶようにする。
- Reuse** 物を修理したり、捨てる前に必要としている人に譲るなど、ゴミとしないので再利用する。
- Recycle** 紙バックや発泡トレイなど店頭に持参したり、集団資源回収へ協力し、ゴミでなく資源として活用する。

## [ 私たちにできること ]

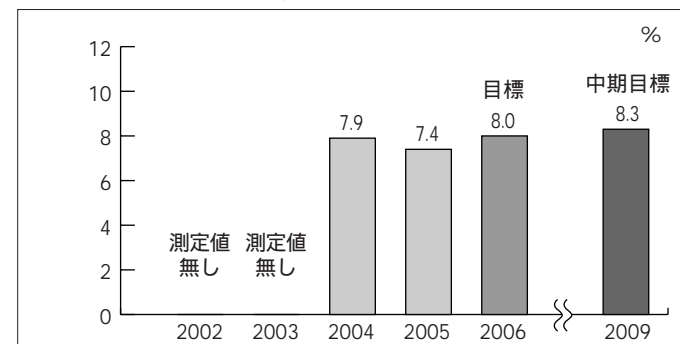
### お客様への再生紙提案

再生紙の原料は古紙から来ています。古紙の利用は、紙の原料となる木材の消費を減らし、森林資源を守るだけでなく、分別回収を徹底することによりゴミを減らすことが出来ます。また、木材から紙を作るよりもエネルギーコストを間接的に削減することが出来、環境負荷低減に繋がります。

あらゆる環境問題の観点から、森林保護は重要なテーマであり、そのためにも紙を作る際に投入される木材資源の使用を極力抑える事が、紙に印刷することを生業とする札幌大同印刷の命題と考え、森林資源の保全のために、また、クオリティを維持した再生紙を選定することで、環境と品質の両方から満足して頂ける再生紙をお客様に使用して頂こうと提案しています。

営業活動において、お客様への提案を行ってまいりましたが、再生紙提案受注率が前年度比で0.5%ダウンしてしまいました。しかし、環境負荷の低減に繋がる事からも、引き続き再生紙の提案を推進して行きます。

再生紙提案受注率の実績と中期計画



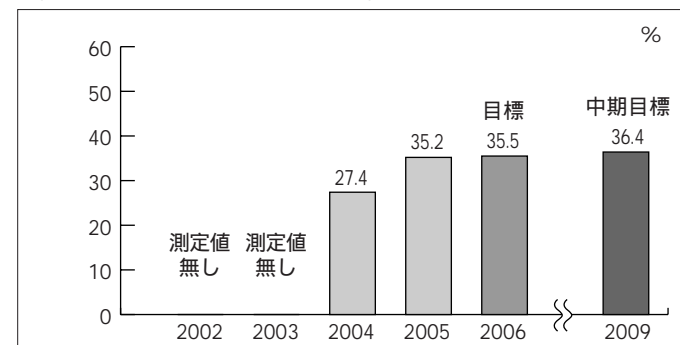
### お客様への大同特色インキ提案

札幌大同印刷は、営業活動により無駄になるインキを極力減らすため使用頻度の高い特色インキを選定し、お客様へ当社見本帳の中からお選び頂く提案を行っています。

お客様への提案を行った結果、大同特色インキの提案受注率が前年度比で4.5%アップしました。

この提案が環境負荷の低減に繋がる事から、引き続き大同特色インキの提案を推進して行きます。

大同特色インキ提案受注率の実績と中期計画



### エコプロダクツ「木を植えるカレンダー」

環境への影響に配慮し、使用する紙は古紙配合率100%の再生紙(セミオーダーにて間伐紙、非木材紙)を用意し、印刷用のインキには食用油の原料として使用するものと同一の大豆油をベースとした大豆インキを使用、金具を一切使わずペーパークラフトカレンダーとして、素材や生産、使用後の廃棄など、各工程での環境負荷を少なくした「木を植えるカレンダー」の販売を行いました。

販売収益の一部として、みどり豊かな北海道をつくるために緑化推進運動を行っている、社団法人北海道森と緑の会「緑の募金」に寄与されました。



### 低公害車への転換

札幌大同印刷は、低公害車の導入を推進しています。

2005年度は6台が導入され、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出による環境への負荷と石油資源から作られる燃料の消費低減に努めています。



### グリーン購入

札幌大同印刷は、商品やサービスを購入する際に、必要性を十分考慮し、価格や品質だけではなく、環境への負荷が出来るだけ小さな物を優先的に購入することを推進しています。

通常購入するグリーン購入対象品目として文具事務用品、OA用紙、ティッシュ・トイレトペーパー、オフィス家具、社用印刷物の5項目を掲げ、地球環境保全活動のひとつとして優先的にグリーン購入を推進していくとともに従業員へのグリーン購入の啓発に努めています。





# 環境コミュニケーション

## [ 環境情報の発信 ]

### 「環境・快適くらし展 in 厚別」の参加

札幌市厚別区の住民参加型まちづくり事業のひとつとして、環境にやさしいまちづくりを考える会が主催する「環境・快適くらし展」が、札幌市厚別区のサンピアザ内「光の広場」にて開催されました。

札幌大同印刷からは「環境にやさしいパネル展」に、お客様へ再生紙・大同特色インキの提案に関するパネルと木を植えるカレンダーを展示し、好評を頂きました。

また、「環境活動発表会」へも参加し、札幌大同印刷が行う環境保全への取り組み事例などを紹介しました。

「環境・快適くらし展」では、北海道開拓の村や野幌森林公園事務所などの体験イベントもあり、地域に密着したイベントとして好評を得ました。

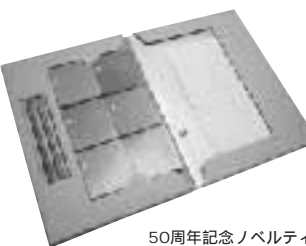


### 第6回 北のペーパーデザインコンテスト 受賞

50周年ポスター & ノベルティ「北海道知事賞」受賞  
木を植えるカレンダー「平和紙業賞」受賞

北海道印刷工業組合などが主催する、第6回北のペーパーデザインコンテストにおいて、札幌大同印刷の50周年イメージポスターとノベルティが、当社創立50周年と環境ISO14001を取得したことによる環境保全への姿勢が生かされていることなどが評価され、「北海道知事賞」受賞となりました。

また、木を植えるカレンダーが、自分で木を1本1本差す植樹のイメージのペーパークラフトとして作る楽しさや、環境啓蒙グッズとして1年を通して木を身近に感じて欲しいと言うテーマがうまく表現されていることなどが評価され、「平和紙業賞」受賞となりました。



50周年記念ノベルティ

### ホームページによる情報発信

札幌大同印刷は、環境活動に関するホームページを開設し、環境方針や環境への主な取り組み、再生紙や大同特色インキの提案などの環境情報を掲載しています。



札幌大同印刷のホームページ「ecology report」に掲載  
<http://www.dioce.co.jp/daido>

### 循環型メディアMOの推奨

MOはデータの移動が容易に出来、繰り返し使用できることからゴミになりにくいという性質を持ち、取引先など幅広く利用されていることから、環境に関する発信が出来るのではないだろうかという従業員の提案により、MOラベルのデザインを変更しました。



### 社内環境掲示板(内部コミュニケーション)

札幌大同印刷は、従業員との環境コミュニケーションを図るため、各事業所に掲示板を設置し、環境関連の公開を行い、情報の共有化を行っています。

また、環境意識の向上を図るため、常に最新の情報を提供できるよう努めています。



### 環境保全推進月間(内部コミュニケーション)

2005年2月より制定された環境推進月間は、環境保全への意識の高揚と、札幌大同印刷が取り組む環境保全項目の強化月間として始められました。

- 2月 省エネルギー月間
- 6月 環境月間
- 10月 4R推進月間
- 12月 地球温暖化防止月間



## [ 社会貢献活動 ]

### さっぽろキャンドルナイト2005への協賛

2005年6月21日PM8:00~10:00、「一番昼間の時間が長い夏至の夜2時間、一斉に電気を消して、スローな夜を過ごそう」という呼び掛けに協賛し、社員に対しての家庭内での消灯を呼び掛け、自社ホームページでの紹介、チラシやキャンドルの配布などを行いました。

キャンドルナイトのイベントには札幌時計台やホテル、レストランなどたくさんの企業や団体などが参加し、地球環境や平和など沢山の人が想いをめぐらせる時間の共有を得ることが出来ました。

札幌大同印刷は、今後も積極的にキャンドルナイトを応援していきたいと思えます。



### さっぽろエコライフ10万人宣言

地球温暖化が急速に進んでいることで、私たち個人や企業、団体に出来ることは、毎日の生活や企業、団体活動のなかでのちょっとした心掛けです。一人ひとりの力は小さいものの、みんなで取り組みれば、大きな力になります。

札幌大同印刷も、環境の保全に取り組む札幌の企業として、また、従業員の一人ひとりの環境意識の向上に繋がると考え、札幌市が進めるエコライフ10万人宣言に登録しました。



エコライフ宣言推進員(営業2部 牧野光記)



### 割りばしリサイクル活動

2005年には約50kgの使用済み割りばしが収集され、王子製紙の江別工場へ送られました。これは王子製紙の資源を大切にすることへの取り組みに賛同し、社内で割りばしを収集することで、再生紙にリサイクルされました。

約50kgの割りばしは、A4のコピー用紙で約5,000枚、ティッシュペーパーにすると約75箱分に相当します。



### 使用済み切手・書き損じ葉書の収集

2003年より社内で使用済み切手・書き損じ葉書の収集を始め、2005年には日本キリスト教海外医療協会(JOCS)へ送られ、アジアやアフリカの発展途上国へ医療品の購入や医師、看護師を派遣し、保険医療事情の改善に役立てられました。



### リングプル収集

2004年より始められたリングプルの収集は従業員の要請から始められ、リングプル再生ネットワーク「ブルネット」に登録しています。

社内や従業員の家庭から集められたリングプルをリサイクル業者に引き取ってもらい、その収益金で椅子を購入し、社会福祉団体に寄贈することで、お年寄りや身体の不自由な方のお役に立てて頂きたいと考え収集しています。



ブルネットマスコット「ぶるりん」

### カレンダーリサイクル市

年末不要となった社内や従業員の家庭から集められたカレンダーと手帳を回収して、北海道NGOグローバルトレイン主催の「カレンダーリサイクル市」に提供しました。

カレンダーや手帳販売による収益金により、UNHCR「みどり1本」運動や沖縄「マングローブ植林プロジェクト」などの活動に役立てられました。

